

## 大豊町中3年生、町長・教育長へ“学び”を発表！

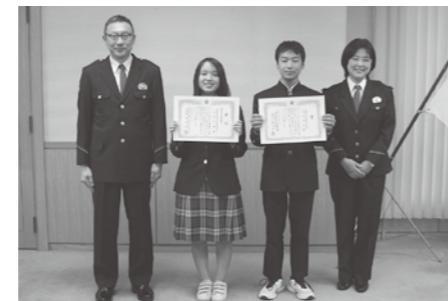
大豊町中学校3年生 北村昂晴さん「警察庁犯罪被害者支援室長賞」を受賞

警察庁では、平成20年度から、中学生および高校生を対象として、犯罪被害者などによる講演会「命の大切さを学ぶ教室」を開催しています。さらに、大切な命を守る、誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現することに関して、自分の考え方や意見について表現した作文を募り、「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール」を実施しています。

令和3年度は、全国から総数10,343作品（中学生の部：4,776作品・高校生の部：5,567作品）の応募がありました。そのうち、北村昂晴さんの作品が「警察庁犯罪被害者支援室長賞」を受賞されましたので、ご紹介します。



### ▲高知県警察本部での表彰式の様子



▲北村昴晴さん 右

「生きて

「生きて、いるだけでもう分だつたのさ。」

卷之三

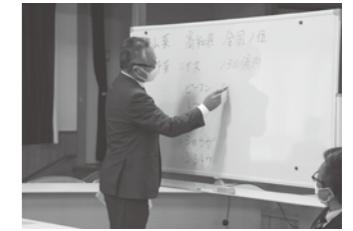
## 教育委員会だより

大豊町中3年生、町長・教育長へ“学び”を発表！

2月3日(木)、役場庁舎 議場にて、大豊町中学校3年生と大石町長、鎌倉教育長との懇談会を開催しました。4班に分かれた3年生が、総合的な学習の時間で今まで学んできたことをそれぞれのテーマで発表する、質疑応答形式で実施しました。

鎌倉教育長からは、「将来、地元・大豊町に帰ってきて町の力になってほしい」という希望や、来年度開校する大豊学園の取り組みを教育委員会としてPRしていくことなどが伝えられました。

大石町長からは、「今日の発表を心に刻むとともに、令和の時代に生きたことをしっかりと次の世代に伝えることができるよう、夢や目標をもってこれから的人生を歩んではほしい」という熱いメッセージをいただきました。



『自然』 グループ

大豊町の山菜“ぜんまい”のヒミツ・美味しいレシピの紹介のパンフレットを作成しました。パンフレットに対するアンケートの実施や、町外の人へ向けての発信をしました。



## 『地域の人』 グループ

実際に町民の方へアンケートを実施し、その結果から考えたことを記事にして、「ゆとりすと」令和4年2月号に掲載しました。



『環境』グループ

大豊町をPRする“キヤッチ  
コピー”を考えました。



## 『population problem』 グループ

大豊町の課題である「人口減少」に対する解決策を考え、記事を作成し、「ゆとりすと」令和4年2月号に掲載しました。



山猪の感想より

- 総合的な学習の時間を通して、人口問題について改めて考え「できること」について深く考えることができた。質問されたことに対して自分の考えを答えることで、大豊町に対して貢献したい気持ちが強まっていた。  
身の周りに、私たちのために協力してくれる人がいると知った。
  - 自分たちが今日、実際に町長さんや教育長さんに発表を行い、上手く説明できたこともあったけれど、一方で町長さんから学んだことも多かった。今日は発表をしていくなかで、確認不足だと感じた場面が何か所もあったので、これからはこんなことがないようにしていきたい。そして、協力することの大切さを今日改めて感じ取れたので良かった。これからは何をする時にも町長さんを見習ってしっかりとやっていきたいと思う。